資料　９

特別展「氷河期展～人類が見た４万年前の世界～」
開催要項（案）

１　**名称**：特別展「氷河期展～人類が見た４万年前の世界～」

２　**趣旨**：
旧石器時代にも重なる約４万年前から約２万年前の最寒冷期にかけて、人類はどのような暮らしをしていたのでしょうか。氷河期の厳しい自然の中で人類がたどった進化の歴史とは、どのようなものだったのでしょうか。
本展覧会では、すでに絶滅した大型動物との関わりや、文化・道具といったキーワードから、当時の生活環境や人類の歩みについて紹介します。
日本初公開となるネアンデルタール人とクロマニョン人の実物の頭骨や、氷河期を生きた巨大動物たちの生態復元模型、全身骨格（レプリカ）などを展示します。
なお、本展は巡回展です。東京や富山、福岡など５会場で開催し、仙台は最終会場となります。

３　**主催**：仙台市博物館、tbc 東北放送、河北新報社

４　**特別協力**：国立科学博物館

５　**企画協力**：TBS グロウディア

６　**後援（予定）**：在仙マスコミ各社

７　**会期（予定）**：令和９年（2027）３月 17 日（水）～５月９日（日）
開催日数 48 日間
※休館日　毎週月曜日（3/22・5/3 をのぞく）、3/23

８　**会場**：特集展示室、テーマ展示室Ⅰ、テーマ展示室Ⅱ、企画展示室、コレクション展示室Ⅱ

９　**観覧料**：一般 1,700 円、高校・大学生 1,300 円、小・中学生 900 円（予定）
※前売り料金は各 200 円引き

10　**各章構成**：第１章　氷河期　ヨーロッパの動物
第２章　ネアンデルタール人とクロマニョン人
第３章　氷河期の日本列島

11　**関連イベント等（予定）**：記念講演会、ミュージアムセミナー、友の会広報セミナー、プレイミュージアムイベントなど

主な出品資料（展覧会図録より転載）

ケナガマンモス（全身骨格〔成体・幼体各レプリカ〕、ライス・エンゲルホルン博物館
下顎骨化石　栃木県立博物館

左：クロマニョン人頭骨（クロマニョン岩陰遺跡）　パリ国立自然史博物館
右：ネアンデルタール人頭骨（ブフィア・ボンヌヴァル洞窟）　パリ国立自然史博物館

細石刃・細石刃核（幌加川遺跡）　遠軽町埋蔵文化財センター

ナウマンゾウ（全身骨格レプリカ）　栃木県立博物館

左：隆起線文土器（月見野遺跡群）　大和市

右：貝器・人骨（サキタリ洞遺跡、展示はレプリカ）沖縄県立博物館・美術館